

### 市ホームページへのアンケート調査結果(報告)

問い合わせ 広報課 ☎38-2006

本紙八月一日号で、市ホームページへのご意見を募集しましたところ、十代から七十歳代の十六人のかたから、貴重なご意見をいただきました。アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございます。

今回は、いただいたご意見の概要と併せて、市の今後の対応についてお知らせします。  
《主な内容・市の考え方》  
■利用目的・内容  
市ホームページを利用する目的についておたずねしたところ、次のような結果でした。複数選択  
行政サービス各種手続き 12件  
イベント・行事の情報 11件  
施設情報 7件  
計画・経営プロジェクト 6件  
また、利用した具体的な内容についておたずねしたところ、次のような結果でした。複数選択  
イベント・講座 11件  
広報あしやオンライン 8件  
広報の動画予算 7件  
観光各種手続き 各4件



のページを探するための便利リンクや機能を紹介しています。  
■充実してほしい情報  
充実してほしい情報としては、観光イベント、子育て教育、6件と続きまして、また、CMSコンテンツマネジメントシステムの説明がないなどの指摘がありました。  
市では、皆さんから寄せいただいたご意見を参考に、各課と協議調整を行い、今後、市ホームページの充実にも努めます。

■欲しい情報の探し方  
目的のページが探しやすいか探していくかをおたずねしたところ、「どちらかといえば探しにくい」と答えられた8件、「どちらかといえば探しやすい」と答えられた6件という結果でした。  
さらに、欲しい情報が見つからなかったと答えられた1件に、その内容をお聞きしたところ、自転車などリサイクルの申込み場所や日程、「子宮頸がんや予防接種の実施医療機関や助成金との回答でした。こうしたご意見を基に、市では次のような対応をしました。  
新規ページに「リユースペスタ」を公開しました。  
予防接種の内容が探しやすいよう、入口を増やしました。  
新規ページに「リユースペスタ」を公開しました。

■CMSとは  
ホームページを構成するテキストや画像などのデジタルコンテンツを統合・管理し、配信などの必要な処理を行うシステムです。  
ウェブサイトの管理・更新等には、専門的な知識や大変な手間がかかるものですが、このシステムでは、専門的な知識を要する部分はすべてシステム側で制御されますので、特別な知識がなくても、ホームページの作成・更新が容易に行え、より正確な情報を速やかに提供できるようになります。

### 秋の公民館講座

問い合わせ 公民館 ☎35-0700/☎31-4998(〒659-0068 業平町8-24)

■田辺真人先生の「文化史論講座」  
■日時 11月12日～平成23年3月18日(金)午前10時～11時30分<全5回> ■会場 市民センター401室ほか ■内容 『阪神間の近代から』、『兵庫県の成立』、『こよみの生活史』ほか ■講師 園田学園女子大学名誉教授・田辺真人氏 ■定員 60人 ■受講料 2,100円

■パソコン講座「ワードで年賀状を作ろう」  
■日時 11月11日～25日(木)午前9時30分～11時30分<全3回> ■会場 市民センター203室ほか ■対象 ノートパソコンを持参でき、ゆっくりでも文字入力ができるかた ■内容 ワードで年賀状づくり ■講師 パソコン講師・都井すま子氏 ■定員 18人 ■受講料 1,500円

《申し込み》 10月29日(金)消印有効 までに、はがきかファクスに、講座名・住所・氏名・電話番号を記入し、公民館へ。\*応募多数の場合は抽選(市内在住者優先)

### 市制施行70周年記念写真集「芦屋の四季・70選」 入選写真展

■会期 10月27日～11月10日 火曜日休館 ■会場 市民センター展示場

問い合わせ 公民館 ☎35-0700

### 谷崎潤一郎記念館の催し

【文学館講座】  
作家 柳谷郁子が語る ～名作の愉しみ～  
■日時 10月28日(木)午前10時30分～正午 ■会場 講義室 ■内容 夢野久作作品『ドグラ・マグラ』の背景・作家の心情など ■定員 16人 ■受講料 2,300円 ■申し込み 下記へ

【谷崎潤一郎賞受賞記念特別講演会】  
演題「いくつかの影と響きのこと」  
■日時 11月24日(水)午後2時～3時30分 ■会場 ルナ・ホール ■内容 第46回谷崎潤一郎賞受賞・阿部和重氏による講演会 ■定員 先着600人(要整理券) ■申し込み 往復はがき(1枚・1人)に、住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、10月31日(日)<必着>までに下記へ

\*受賞作「ビストルズ」は、谷崎の「細雪」や「春琴抄」に影響を受けた作品 <阿部氏・談>

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/☎38-3244 ☎23-0039(特別講演会専用) (〒659-0052 伊勢町12-15)

### 美術博物館の催し

■芦屋史跡散歩  
■日時 10月31日(日)午前10時～11時30分 ■集合 JR芦屋駅改札口前 ■内容 徳本上人名号塔・富田砕花旧居などの史跡を、当館学芸員が案内 約2.5km・雨天決行 ■定員 15人 ■申し込み 往復はがきに、住所・氏名・年齢・電話番号を明記し、10月22日(金) 必着 で下記へ

■みんなで歌いましょう  
■日時 10月22日(金)午後1時30分～3時 ■会場 講義室 ■参加費 500円(観覧料含む) 歌集のないかたは歌集代1,000円別  
問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432 (〒659-0052 伊勢町12-25)

### 地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」

問い合わせ 学校教育課 ☎38-2087

地域に学ぶ中学生体験週間「トライやる・ウィーク」は、市立3中学校(精道中学校・5月25日～28日/山手中学校・5月31日～6月4日/潮見中学校・6月7日～11日)が終了し、11月8日から、県立芦屋国際中等教育学校が実施する予定です。  
「トライやる・ウィーク」は今年で13年目を迎え、生徒たちが学校・家庭・地域に支えられていることを意識できるよう、指導に取り組みました。生徒たちは、ふれあった皆さんから多くを学び、元気づけられ、体験を成長の糧とすることができました。推進委員会・各事業所の指導ボランティアや応援いただいた地域の皆さん、本当にありがとうございました。今後とも、この「トライやる・ウィーク」に、皆さんのご理解とご支援をお願いします。

#### ■「三田谷学園での活動」

山手中学校・佐々木 瑠嘉  
はじめは園児と向き合えず掃除ばかりするようにしていました。でもそれだけではこのトライやる・ウィークで学べることも、三田谷学園に来た意味もないと思って、園児と向き合ってみようと思いました。園児と向き合うといっても、会話がちゃんとできなかつたりして、どう向き合ってよいのかわかりませんでした。それで先生はどう接しているのかなあと考えて、たくさん話を聞きました。その中で私が一番心に残っているのが先生の「障がいのある子を知りたい」と興味を持っている気持ちの方が大きかったです。という言葉です。私ももっと園児1人1人を知ろうと思って名前を聞いて覚えたり、一緒に遊んでいくうちに、園児の子も、ちゃんと私の目を見て話してくれるようになりました。すごくうれしかったです。先生の話の中で「みんなを幸せにするのが私たちの仕事であり、この施設なんだよ」という言葉が出てきました。それで私は、福祉というのは国民1人1人を幸せにする仕事なんだなと思いました。

#### ■「フルヤ鍼灸整骨院での活動」

潮見中学校・木村 真理子  
私は、1日目も2日目も、担当のかたに言われたことだけしかできず、立ち尽くすばかりでした。でも、他のスタッフの皆さんは、時間を見つけては他の人を手伝ったりなどして、時間を有効に使っていました。私も見習ってしようとはするものの、立ち尽くしているばかりで、患者さん「どうしたらいいの?」と聞かれてもわからないまま、結局、迷惑をかけてしまいました。私は、これまで仕事は学校より簡単だと思っていました。でも、このトライやる・ウィークを通して、どれだけ大変が分かりました。担当のかたは、治療をして良かった時に、患者さんに「ありがとう」と言われるのが生きがいで、おっしゃっていました。そのために、こんなにもがんばっているのだなあと、思い、感心しました。  
このトライやる・ウィークを終えて、ここで学んだことを、これから生かしていきたいです。そして、いつも私のために働いてくれている父や母に感謝を忘れず、今自分がするべき事、できることは何かを考えながら、行動できるようにしたいと思います。

#### ■「いかりスーパー芦屋店での活動」

山手中学校・池田 奈津美  
いかりスーパーマーケットでは、笑顔と大きな声でのあいさつが合言葉でした。そのため朝の日課は笑顔の体操と五大用語の声出しでした。指導してくださったみなさんは、笑顔が素敵で話すときもハキハキしていて、「絶対こんなふうになるんだ」と思い、毎晩笑顔の体操をしていました。そして少しずつではあるけれど、お客さまとすれ違ったときには声を出すように意識していきました。するとだんだん自信が持てるようになっていきました。  
そのとき感じたのが笑顔で大きな声で接客すると自分自身気持ちがいいし、お客さまも安心するということです。そしてお客さまに信用してもらえるようになって、「がんばってや、ありがとう」などと声を掛けてもらったときは、うれしくて疲れもふっとびました。この1週間は、たくさんの人に支えられたと感じます。思い出に残る1週間でした。

#### ■「浜風幼稚園での活動」

潮見中学校・末松 里紗子  
私が一番印象に残っている事は、「ありがとう」と「ごめんね」は必ず園児に言ったり、言わせたりしていたことです。どちらもこれから人間関係を作るにあたって欠かせない言葉です。「ありがとう」という、言った人も言われた人も、すごく良い気持ちになります。「ごめんね」というときは、少しの中心にためらう部分もあつたりするものです。でも、ケンカした友だちと仲直りできたり、きずなが深まるきっかけをくれる言葉です。この2つは私も大切にしている言葉です。それを幼稚園の先生も伝えていたので、改めて大切だと実感しました。  
幼稚園で、言葉の大切さを学べるとは思っていませんでした。私がその大切さに気づけたのも、浜風幼稚園の先生のおかげです。すごく充実した1週間になりました。ありがとうございました。



山手中学校の活動 大丸ビコーック芦屋南高店で



潮見中学校の活動 朝日ヶ丘幼稚園で

### 中学2年生 体験活動週間



精道中学校の活動 宮川小学校で

#### ■「南芦屋浜病院での活動」

精道中学校・矢野 愛里  
精道中学校・矢野 愛里  
一番印象に残ったことは、老健施設での体験です。そこでは、患者さんの食事のお手伝いをさせていただきました。中にはスープを口に運べなかつたり、こぼしてしまう人がいました。私たちは最初、「どうやってお手伝いすればいいんだろう」と不安や心配でいっぱいでした。でも患者さんと「おいしですか?」「何が一番好きですか?」などとお話するうちに、だんだん気持ちも落ち着いてきました。さらに患者さんに「さん、ご飯が減っていませんよ。おかずも食べましょう」と言うと「はい」と返事をしてくださいました。私はとてもうれしくて、働くことの楽しさを感じる事ができました。私はこの1週間働くことの厳しさ人と接することの楽しさを学びました。失敗もありましたが、一緒に行った3人で協力して乗り越え、とても充実したものでなりました。今回のトライやる・ウィークで病院に行くことができ、よかったですと思います。それに「人生の先輩」からたくさんのことを教えていただきました。今後に活かしていきたいと思いました。

#### ■「伊勢幼稚園での活動」

精道中学校・園田 あゆみ  
「おはようございます」この言葉がみんなを気持ちよく迎えるとても大切なものだと思ってきました。子どもたちです。ちゃんとと言えるかなとドキドキしながらもあいさつをすると、みんな「おはようございます」と返してくれました。とてもうれしかったです。あいさつはみんなにスイッチを入れる大切なものだと思ってきました。優しくしてあげてくれたのも子どもたちでした。ある女の子が自分の水筒を持って行くついでに、みんなの水筒も両手にいっぱい抱えて渡っていました。素直さから優しさが生まれるのだと分かりました。また幼稚園の先生がたの工夫も、少しは分かった気がします。大切だと思ったことは、過ごしやすい環境を整えること、目を見て話を聞くこと、常に笑顔でいることです。優しい気持ちで接することで子どもたちが幼稚園を好きになれるのだと思います。たった5日間でしたが、学んだことはたくさんあります。それらを今後、しっかり生かせるようにしたいと思います。

#### ◆ 市内事業主の皆さまへ ◆

今回ご協力いただいた事業主の皆さまに、心から感謝申し上げます。今後ともご支援いただきますよう、よろしくお祈りします。また、新たに今後の受け入れをしていただける事業主のかたがいらっしゃいましたら、下記へご連絡くださいますようお願いいたします。  
学校教育課(☎38-2087)

10月後半 CATV 広報(番組)ガイド  
芦屋市広報番組 あしや トライ あんぐる 放送時間(15分)  
オープニング 前山公園  
トピックス 総合公園 ビオトープの生き物観察会 8:30  
山手幹線全線開通記念ウォーク 12:00  
第22回あしや秋まつり 16:00  
特集 打出小橋古墳は 18:15  
阪神間最大の前方後円墳 22:45  
お知らせ 市役所北側花壇の植替え・庭園部市宮石碑除幕式 ※DVD  
市制施行70周年記念式典 VTR  
市制施行70周年メモリアル植樹 貸出可  
エンディング 写真で振り返る「芦屋市制の70年」  
■アナログ放送は9chで、地上デジタル放送は11chでご覧ください。  
■番組に関する問い合わせ 広報課 ☎38-2006 ■CATV全般に関する問い合わせ ケーブルネットワーク神戸芦屋(U-COM)カスタマーズセンター☎0120-13-8160

<児童虐待防止推進月間講演会>  
子育ての新しい形を求めて-子ども虐待の早期発見のために  
芦屋市要保護児童対策地域協議会では、児童虐待防止推進月間である11月に講演会を実施します。奮って、ご参加ください。  
■日時 11月14日(日)午後1時～3時  
■会場 保健福祉センター多目的ホール  
■講師 甲南大学文学部 人間学科教授・森茂起氏  
■定員 先着100人  
■託児 先着10人  
■申し込み 事前に電話で下記へ  
問い合わせ 子育て支援センター ☎31-0637

こどもフェスティバル  
■日時 10月30日(土)午後1時～3時30分 ■会場 体育館・青少年センター(土足厳禁) ■対象 乳幼児と保護者  
■内容 ステージ・遊び場ブースほか  
■持ち物 上履き 公共交通機関をご利用ください。  
問い合わせ こども課 ☎38-2045

幼稚園って どんなどこ?  
幼稚園では、幼児が身近な環境を生かし、心を動かす感覚体験や、友達や人とのつながりを感じ、協同する喜びを味わえる活動を、大切に考えています。  
そうした活動の一つに野菜作りがあります。畑や大きな木の植木鉢を利用して、玉ネギ、ジャガイモ、ピーマン、トマト、キュウリなどを育てています。  
自分の手で苗を植える土を、水を遣り、時には野菜に話しかけながら時間をかけて大切に育てます。教育ボランティアの先生から育て方や野菜の特徴について話を聞き、やがて収穫のときを迎えます。子どもたちは、驚いた様子で野菜に近づくと、長さに驚いたり、大きさを順番に比べ、ことに気付いたり、数を数えたりして、体験を通してさまざまなことを実感して、かまひ。次に、収穫した野菜を材料にして、カレー、煮込み、サラダ、お弁当、おやつ、お土産などに活用します。最初は緊張していましたが、子どもたちは、お店の人と会話を進めるうちに笑顔になります。このことをきっかけに商店街の七夕飾りや園児が作り、地域とのつながりに発展していったこともありました。  
年長児を中心としたカレー作りでは、玉ネギの皮むきで目を赤く濡ませたり、初めて包丁を使ったりと緊張しながらも子どもたちは、最後まで真剣な表情で取り組んでいました。こうして、カレー会食は始まり、子どもたちは大喜びで何林もかわかりました。家庭では嫌いな野菜でも、園で調理した野菜なら不思議と食べる子どもたち。毎日心を込めて水やりをし、自分の手で収穫をし、友達と一緒に食べたときの楽しい雰囲気や、一体感・達成感から得られる喜び、これからは野菜づくりに通じて、育てる楽しさ、食べる楽しさや食べ物への感謝の気持ちと、地域を広げていきたいと思います。  
問い合わせ 学校教育課 ☎38-2087